

《履修上の留意事項》社会福祉士国家試験、精神保健福祉士国家試験を受験予定の者は必ず履修すること。

《担当者名》 橋本菊次郎 hashimoto-kiku@hoku-iryu-u.ac.jp 片山 寛信 志水 幸 大友 芳恵 巻 康弘 福間 麻紀 志水 朱 奥田 かおり 下山 美由紀 宮本 雅央 近藤 尚也 高橋 由紀 鈴木 和 薄井 明 佐々木 敏明(非) 松本 剛一(非) 川勾 亜紀奈(非) (主担当、 副担当)

【概要】

この講義では、社会福祉学における基幹科目について、その基本的意義や要点等について、再度総括的に概説する。

【学修目標】

これまでの学習内容のうち、自らの理解が不十分であった箇所を点検し、それらを補充することができる。
社会福祉専門職として必要な学力・総合力を身に付けることができる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション 国家試験の取り組み方と効果的な学習方法	オリエンテーション 国家試験の取り組み方 効果的な学習方法	橋本、片山、宮本、近藤、鈴木、高橋
2	福祉行財政と福祉計画	福祉行財政の実施体制。 福祉行財政の実際。 福祉計画の意義と目的、主体と留意点。	佐々木
3	福祉行財政と福祉計画	福祉行財政の実施体制。 福祉行財政の実際。 福祉計画の意義と目的、主体と留意点。	佐々木
4	地域福祉の理論と方法	地域福祉の基本的考え方。 地域福祉の主体と対象。 地域福祉に係る組織、団体および専門職の役割と実際。 地域福祉におけるネットワーキング。 地域福祉の推進方針。	宮本
5	高齢者に対する支援と介護保険制度	高齢者の生活実態とこれを取りまく社会情勢、福祉・介護需要。 高齢者福祉制度の発展過程。 介護の概念や対象および理念等。 介護過程における介護の技法や介護予防の基本的考え方。 終末期ケアのあり方。 介護保険制度や高齢者の福祉・介護に係る他の法制度。	志水 朱
6	社会理論と社会システム 心理学理論と心理的支援	現代社会・生活・社会問題の理解。 人と社会の関係。 人の心理学的理解。 人の成長・発達と心理。 日常生活と心の健康。 心理的支援の方法と実際。	薄井
7	福祉サービスの組織と経営	福祉サービスに係る組織や団体。 福祉サービスの組織と経営に係る基礎理論。 福祉サービスの経営と管理運営。	松本
8	現代社会と福祉	現代社会における福祉制度の意義や理念、福祉政策との関係性 福祉の原理をめぐる理論と哲学。 福祉政策におけるニーズと資源。 福祉政策の課題。 福祉政策の構成要素。	志水 幸

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
		福祉政策と関連政策 相談援助と福祉政策との関連。	
9	現代社会と福祉	現代社会における福祉制度の意義や理念、福祉政策との関係性 福祉の原理をめぐる理論と哲学。 福祉政策におけるニーズと資源。 福祉政策の課題。 福祉政策の構成要素。 福祉政策と関連政策 相談援助と福祉政策との関連。	志水 幸
10	社会保障	現代社会における社会保障制度の課題。 社会保障の概念や対象、理念、発達過程。 公的保健制度と民間保健制度の関係。 社会保障制度の体系と概念。 年金制度および医療保健制度の具体的内容。 諸外国における社会保障制度の概要。	近藤
11	低所得者に対する支援と生活保護制度	低所得者層の生活実態とこれを取りまく社会情勢、福祉需要とその実際。 生活保護制度や生活保護制度に係る他の法制度。 自立支援プログラムの意義と実際。	近藤
12	障害者に対する支援と障害者自立支援制度	障害者の生活実態とこれを取りまく社会情勢、福祉・介護需要。 障害者福祉制度の発展過程。 障害者総合支援法や障害者の福祉・介護に係る他の法制度。	川勾
13	障害者に対する支援と障害者自立支援制度	障害者の生活実態とこれを取りまく社会情勢、福祉・介護需要。 障害者福祉制度の発展過程。 障害者総合支援法や障害者の福祉・介護に係る他の法制度。	大友
14	相談援助の理論と方法	相談援助における人と環境の交互作用に関する理論。 相談援助の対象と様々な実践モデル。 相談援助の過程とそれに係る知識と技術。 相談援助における事例分析の意義と方法。 相談援助の実際。	福間
15	社会調査の基礎	社会調査の意義と目的および概要。 統計法の概要、社会調査における倫理と個人情報保護。	宮本
16	社会保障	現代社会における社会保障制度の課題。 社会保障の概念や対象、理念、発達過程。 公的保健制度と民間保健制度の関係。 社会保障制度の体系と概念。 年金制度および医療保健制度の具体的内容。 諸外国における社会保障制度の概要。	川勾
17	相談援助の基盤と専門職	社会福祉士の役割と意義。 精神保健福祉士の役割と意義。 相談援助の概念と範囲。 相談援助の理念。 相談援助における権利擁護の意義と範囲。 相談援助に係る専門職の概念と範囲および専門職の倫理。 総合的かつ包括的な援助と他職種連携の意義と内容。	奥田
18	現代社会と福祉	現代社会における福祉制度の意義や理念、福祉政策との関係性 福祉の原理をめぐる理論と哲学。 福祉政策におけるニーズと資源。 福祉政策の課題。	志水 幸

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
		福祉政策の構成要素。 福祉政策と関連政策 相談援助と福祉政策との関連。	
19	社会保障	現代社会における社会保障制度の課題。 社会保障の概念や対象、理念、発達過程。 公的保健制度と民間保健制度の関係。 社会保障制度の体系と概念。 年金制度および医療保健制度の具体的内容。 諸外国における社会保障制度の概要。	川勾
20	保健医療サービス	医療保険制度の概要。 診療報酬の概要。 保健医療サービスの概要。 保健医療サービスにおける専門職の役割と実際。 保健医療サービス関係者と連携の実際。	巻
21	低所得者に対する支援と生活保護制度	低所得者層の生活実態とこれを取りまく社会情勢、 福祉需要とその実際。 生活保護制度や生活保護制度に係る他の法制度。 自立支援プログラムの意義と実際。	大友
22	地域福祉の理論と方法	地域福祉の基本的考え方。 地域福祉の主体と対象。 地域福祉に係る組織、団体および専門職の役割と実際。 地域福祉におけるネットワーキング。 地域福祉の推進方針。	宮本
23	福祉サービスの組織と経営	福祉サービスに係る組織や団体。 福祉サービスの組織と経営に係る基礎理論。 福祉サービスの経営と管理運営。	松本
24	福祉行財政と福祉計画	福祉行財政の実施体制。 福祉行財政の実際。 福祉計画の意義と目的、主体と留意点。	志水 幸
25	高齢者に対する支援と介護保険制度	高齢者の生活実態とこれを取りまく社会情勢、 福祉・介護需要。 高齢者福祉制度の発展過程。 介護の概念や対象および理念等。 介護過程における介護の技法や介護予防の基本的考え方。 終末期ケアのあり方。 介護保険制度や高齢者の福祉・介護に係る他の法制度。	志水 朱
26	児童・家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度	児童・家庭の生活実態とこれを取りまく社会情勢、 福祉需要。 児童・家庭福祉制度の発展過程。 児童の権利。 児童・家庭福祉制度や児童・家庭に係る他の法制度。	片山
27	更生保護制度	更生保護制度。 更生保護制度を中心に、刑事司法・少年司法分野で活動する組織、団体および専門職。 刑事司法・少年司法分野の他機関等との連携のあり方。	近藤
28	障害者に対する支援と障害者自立支援制度	障害者の生活実態とこれを取りまく社会情勢、 福祉・介護需要。 障害者福祉制度の発展過程。 障害者総合支援法や障害者の福祉・介護に係る他の法制度。	橋本
29	権利擁護と成年後見制度	相談援助と法の関わり。 成年後見制度の概要。	大室英幸（特別講師） 橋本

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
		成年後見制度の実際。 社会的排除や虐待等の権利侵害や認知症などの日常生活上の支援が必要な者に対する権利擁護の活動の実際。	
30	まとめ	講義全体の振り返り 授業アンケート	橋本、片山、宮本、近藤、鈴木、高橋

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

毎回の講義終了時に実施する小テストの総合得点により評価する。

【教科書】

（編）社会福祉士国家試験受験ワークブック編集委員会『社会福祉士・精神保健福祉士国家試験受験ワークブック2023【共通科目編】』

（編）社会福祉士国家試験受験ワークブック編集委員会『社会福祉士国家試験受験ワークブック2023【専門科目編】』中央法規『社会福祉士国家試験のためのレビューブック2023』メディックメディア

（2022年6月発行見込み）の組み合わせ又は（2022年4月下旬発行見込み）を準備すること。

【参考書】

（一社）日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集『2022年社会福祉士国家試験過去問題解説集』（中央法規）などの社会福祉士国家試験過去問題集を準備し取り組むこと。

その他、必要がある場合には、適宜紹介する。

【学修の準備】

- ・該当科目の講義前には、教科書、参考書、ワークブック等で事前学習をしてから講義にのぞむこと（80分）。
 - ・講義内容の知識の定着を図るため、事後学習に取り組むこと（80分）。
- 講義で提示する課題に関して、事前・事後学習（45分～90分程度）に取り組むこと

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2、DP3

【実務経験】

橋本菊次郎（精神保健福祉士）、片山寛信（社会福祉士）、大友芳恵（社会福祉士）、巻康弘（社会福祉士）、福間麻紀（社会福祉士）、志水朱（社会福祉士）、下山美由紀（看護師）、宮本雅央（社会福祉士）、近藤尚也（社会福祉士）、川勾亜紀奈（社会福祉士）、鈴木和（精神保健福祉士）、奥田かおり（ソーシャルワーカー）、佐々木敏明（ソーシャルワーカー）、高橋由紀（介護福祉士）、松本剛一（社会福祉法人役員）

【実務経験を活かした教育内容】

社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士、ソーシャルワーカーとしての実践経験、国家試験の受験勉強も含めた学習経験をふまえ、社会福祉の歴史、法制度やサービスの概要・課題等について講義する。